

都道府県名	大阪府
-------	-----

・学校の概要（平成15年4月現在）

学 校 名	熊取町立南小学校								
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	養護学級	計	教員数
学 級 数	2	2	2	2	2	2	2	14	22
児 童 数	65	71	62	56	62	54	7	377	

・研究の概要

1. 研究主題

少人数指導を活用した、基礎・基本の確実な定着と学力向上を目指す授業形態や効果的な指導法の研究

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

実施学年及び教科を選択した理由

- ・ 1, 2年・・・国語、算数  
就学前の経験がまちまちであり、学習すること自体にトレーニングが必要である。特に基本的な国語、算数では低学年での理解の程度がその後の学習内容の習得に大きく影響するため。
- ・ 3～6年生・・・算数  
児童の理解の状況に差が出やすい教科であり、系統的に学年を通して指導方法や学習具、学習材について研究することが可能であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

研究テーマ

学びの自立を目指した学習形態の研究と児童の実態やねらいに応じた学習集団についての研究

研究の見通し

・児童の興味・関心をひくもの、学習のめあてに活動がつながる具体物を操作するような学習材を開発する。また獲得したことが、自分の生活の中で活用できるような学習材を開発する。

・毎時間の授業終了後、ノートにまとめを書かせ、自分自身の情意面や学習内容面の変化や獲得したことを出させ、自分自身の実態について児童自身が知るようになる。

・単元終了後にふれあいレポートを書かせ、児童の相互評価や指導者の評価から、児童自身が自分の短所や長所を知り、次の学習に生かせるようにする。また、指導者もふれあいレポートを活用することで、指導と評価の一体化を図るようにする。

#### 研究の内容・方法

1, 2年 TTを中心に学級2分割等により指導する。

3年 学級2分割及びT・Tにより指導する。

4年～6年 均等3分割、習熟度別分割、課題別分割により指導する。

少人数指導推進委員会で研究をすすめ、具体的な課題については学年毎に協議をすすめる。また、各学年とも研究授業を実施し、講師を招聘して指導を受ける。さらに、フロンティア校として、研究授業、校内研修会とも周辺の学校に公開する。

平成16年度

#### 研究の目的

児童が少人数の授業形態のよさを知り、自分にあった学習集団を選択して、基礎・基本の確実な定着や学力の向上を目指し、効果的に学習をすすめられるための研究

#### 研究の見通し（仮説）

- ・学んだことを積極的に学習や生活に生かせる学習材、学習具を開発する。
- ・児童の学習の深まりに応じた学習材を開発する。
- ・児童にとって自分の成長が分かり、次の学習に意欲が出るような評価を行う。
- ・指導者にとって評価と指導の一体化を図る観点からの評価を行う。

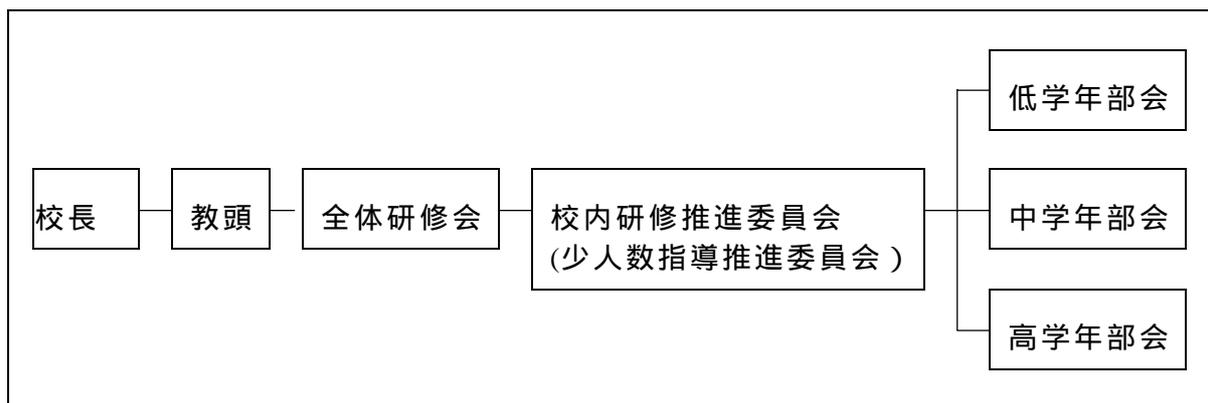
#### 研究の内容・方法

1, 2年 TTを中心に学級内分割等により指導する。

3～6年 均等3分割、習熟度別分割、課題別分割等により指導する。

少人数推進委員会で研究をすすめ、具体的な課題については学年毎に協議をすすめる。また、各学年とも研究授業を実施し、講師を招聘して指導を受ける。さらに、フロンティア校として、研究授業、校内研修会とも周辺の学校に公開し、成果を広める。

### (3) 研究推進体制



## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

・個々における支援がより必要な低学年に少人数指導（T・T形態）を実践することで、児童一人ひとりの理解の程度を細かく把握することができた。また、児童のつぶやきを身近にとらえ、それを授業に生かすことができた。

・授業終了時や単元終了時に学習を振り返ったり、自分なりにレポートにまとめたりする場面を設けることにより、児童の自己評価能力を高めることができた。仲間どうしの相互評価や指導者の評価から、児童自身が自分の短所や長所に気づくことができるようになってきた。

### 2. 今後の課題

・児童の学力を確かなものとするためには、担任と少人数担当者が連携をし、それぞれの役割（指導計画、学習材、）を明らかにし協力して指導することが大切だと実感した。

・また、学習形態の工夫も課題である。現在、T・T、学級2分割、学年3分割を実施しているが、単元や学習内容に合わせ、形態を選択する必要がある。また、分割したそれぞれのグループの学習内容や進め方についてもさらに考える必要がある。

・コース選択の方法は、自己選択を基本とするが、各コースがどんなめあてをもち、どんなスタイルで学習を進めていくのか、できるだけ具体的な形で示す必要がある。（コース名、オリエンテーション、1, 2時間の試行期間）

・指導者のアドバイスも参考にするため、関連単元や、既習事項の内容が理解できているかを判断できる材料（診断テスト）を有効に活用したい。

### 学力等把握のための学校としての取り組み

・時間毎の学習内容に合わせた評価の観点を明確化（具体の姿）することにより、児童一人ひとりの見とりを充実させている。

・ノート指導、レポート等により見えやすい学力（一般的な評価テストにより数値化できるもの）以外にも目を向けている

・学年末に学力診断テストを行い、分析している。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

#### 研究授業、校内研修会の公開

平成16年1月23日（金）4年研究授業、反省会、町内小中学校へ案内

平成16年2月23日（月）西川廣信先生による校内研修会

講師として研究会に招聘される

#### 亀井勝弘教諭（フロンティアティーチャー）

9月17日 岸和田市小学校教育研究会（算数科部会）で講話

テーマ「算数的活動をいかした数と計画の指導」

11月21日 貝塚市立西小学校 校内研修会研究授業で指導助言

2年算数 「九九2」

【新機構・継続校】	1 5 年度からの新規校	1 4 年度からの継続校
【学校規模】	6 学級以下	7 ~ 1 2 学級
	1 3 ~ 1 8 学級	1 9 ~ 2 4 学級
	2 5 学級	
【指導体制】	少人数指導	T T による指導
	一部教科担任制	その他
【研究教科】	国語	社会
	生活	音楽
	体育	その他
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有
		無